

令和6年度 学校経営について

学校経営の基調

- ・ 日本国憲法、教育関係法規に則り、県及び市の教育行政の方針・施策を踏まえるとともに、児童、保護者及び地域の実態や願いを基盤に、国分小ならではの学校づくりを目指す。
- ・ 持続可能な社会の実現ためには、人材育成が不可欠であり、その中核を担う学校教育の役割を認識した学校づくりを行う。

教育理念

- 1 一人一人を大事にする教育
人権尊重の立場に立ち、子ども一人ひとりをよく見つめ、温かく厳しい、心の触れ合う教育でありたい。
- 2 夢を育て、やる気を育てる教育
将来の展望に立って、活力とたくましく生きる力を育てる教育でありたい。
- 3 自立への基礎を培う教育
自ら扉を開いて、自ら求め、自ら創造し、生涯学び続ける主体的な人間を育てる教育でありたい。(独り立ち＝自立・自律)

学校教育目標

胸を張って堂々と生きる

校 訓 「あかるく つよく やさしく」

合 言 葉 「みんなで楽しく学び合い 気づき 考え 実行する 国分っ子」

めざす子どもの姿

意欲をもち進んで学ぶ子

【向学の心】

(あかるく)

心も体も健康でたくましい子

【たくましい心】

(つよく)

認め合い・支え合う子

【豊かな心】

(やさしく)

経営方針

- 1 校区の歴史的・地理的風土、創立150年目の伝統を尊重する。
- 2 全教育活動をとおり、知・徳・体の調和のとれた児童育成に努める。
- 3 職員相互の融和と人間的な信頼関係をもとに、高め合う職員集団を目指す。
- 4 幼・中・高との連携、地域社会・各種組織等とのつながりを大事にする。
- 5 持続可能な社会の実現を目指す“SDGs”を積極的に推進する。
- 6 人づくり・社会づくりを担うための、よりよい働き方、休み方、生き方を目指す。

